

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	めだかのがっこうプラス駿河安倍川校		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員(保育士・理学療法士・作業療法士)が支援に関わっている。	<ul style="list-style-type: none"> 各専門職が活動プログラムに関わっている。 各利用者のアセスメントを各専門職の視点で行っている。 月1回、各事業所の理学療法士・作業療法士が集まり会議を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 会社全体だけでなく、各事業所に合わせた具体的な支援を行っていく。
2	プロ家庭教師のジャンプとの提携により、より細かな学習支援と移行支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> オリジナル教材を的確に用いた学習支援を行っている。 中学受験、高校受験など先々の移行に向けた進路相談を行い、将来の選択肢の幅が広がるようにサポートしている。 月1回プロ家庭教師のジャンプと会議を行い、学習支援の質を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な進路相談会を実施していく。 可能な限り学校と学習内容について情報共有していく。

3	ご利用時のお子様の様子をより細かく情報発信している。	<ul style="list-style-type: none"> ・専用のアプリを使用することで、ご利用時のお子様様子を写真、コメントで細かく情報提供している。 ・アプリを使用することで、ご家族がいつでも様々な情報を確認できるようにしている。 	・アプリに頼り過ぎず、日々の密な情報共有を徹底していく。
---	----------------------------	---	------------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や保護者同士の交流機会の提供不足	・「本人支援」「移行支援」に重点を置いており、「地域支援・地域連携」についての取り組み不足になっていた。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練実施について、近隣住民に周知を始めたので、今後は長期休暇時の活動に地域交流の場を設けるよう計画に盛り込んでいく。 ・保護者交流については、保護者のニーズを確認して、慎重に計画の立案をしていく。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		めだかのがっこうプラス駿河安倍川校					公表日	令和 8 年 3 月 27 日
		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2			・29日・30日・31日は足りていないと感じる日もある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		・障害特性の共有や情報伝達は行えている	・バリアフリーではない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			・部屋数や広さからクールダウンを行える環境を確保しやすい		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				・今後も保護者様からの意向を把握する機会を設けていきたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			・研修が増えてきて良いと思う		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			・意見が多く出ていると思う		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			・各々が意見を出し、ディスカッションできている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			・計画の共有を適宜行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			・活動プログラムは職員間で話し合いをして決める		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7					

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			・打ち合わせができない日は次の日の朝行っている ・共有ノートを活用している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			・振り返りを行い、その後の活動実施に生かしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7				
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			・なるべく2名以上で参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2			・こども園からの情報はあまりない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	2		・まだ対象児童はいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7			・公園での交流はある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			・気になる部分があれば、送迎時等、保護者様と最近の様子について、情報共有を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		・支援を行っている上で、気になったことは適宜保護者へ伝えるようにしている	・今後、家族等の参加できる研修の機会を確保していきたい
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7				・今後も保護者様やお子様へ寄り添った計画を立てていきたい
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			・気になる部分があれば、送迎時等、保護者様と最近の様子について、情報共有を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	2		・きょうだいで利用されている方々に関しては気になることがあれば情報共有している	・保護者会はない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				・今後も事実確認を行える体制を確保したい
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			・その月にどのような活動を行うのか、予定表を共有している		

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			・書類は鍵付きのスチールキャビネットに保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			・送迎時に保護者様と最近の様子について、情報共有を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2			・今後、防災訓練を行う回覧を回すなど、地域とも交流を図れればと思っている
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7				・職員は周知しているが、訓練を通じて保護者への周知を行っていききたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			・BCPを作成しており、訓練は実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7				・把握しているつもりではあるが、今後も徹底していききたい
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7				・把握しているつもりではあるが、今後も徹底していききたい
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			・安全計画を作成し、スタッフ間で周知している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7				・訓練を通じて保護者への周知を行っていききたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			・ヒヤリハットがあった場合は書類を作成し、職員間で共有している	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		・年2回、虐待防止の研修を実施している		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			・職員間で身体拘束の研修も実施している		

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2026年3月27日

事業所名: 放課後等デイサービス めだかのがっこうプラス駿河安倍川校

対象人数(保護者)30人 回答者数 26人 回収 86.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1				
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2		5		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2	1	4	バリアフリー化については不明のため。子どもたちの特性上難しいかとも思いますが、 玄関扉の開閉があった時に音か何かで近くにいなくても人の出入りがわかると勝手に出ていったりにも気づきやすく更に安心ではないかと思いました。	ご意見ありがとうございます。来訪者用の呼び鈴を設置いたしました。開閉時に音が出るように早急に対応いたします。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	23	2		1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	20	4		2	職員の方によって対応に かなりバラつきがあると 感じています 自発管や心理士などの 専門職の方がいると、 安心できません	ご意見ありがとうございます。 児童発達支援管理責任者 は常駐しておりますが、 職員の対応につきましては 社内で研修等対応して いきます。
	⑥	事業所が公表している 支援プログラム(※2)は、 事業所の提供する支援 内容と合っていると思い ますか。	24	1		1		
	⑦	こどものことを十分に 理解し、こどもと保護 者のニーズや課題が客 観的に分析された上で、 放課後等デイサービス 計画(個別支援計画) (※3)が作成されてい ると思いますか。	24	2				
	⑧	放課後等デイサービス 計画には、放課後等 デイサービスガイド ラインの「放課後等 デイサービスの提供 すべき支援」の「本 人支援」、「家族支 援」、「移行支援」 で示す支援内容から こどもの支援に必要 な項目が適切に設定 され、その上で、具 体的な支援内容が設 定されていると思い ますか。	23	1		2		
	⑨	放課後等デイサービス 計画に沿った支援が 行われていると思い ますか。	24	1		1		
	⑩	事業所の活動プログラ ム(※4)が固定化さ れないよう工夫され ていると思いますか。	18	4		4		
	⑪	放課後児童クラブや 児童館との交流や、 地域の他のこどもと 活動する機会があ りますか。	11	4	1	10		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1		1		
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26					
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		5	8		
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1				
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	3		1		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	23	3				
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	9	8		
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1		3		
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23			3		
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25			1		
㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1		3			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			6	前に防災訓練等やってくださったので今後も定期的にやっていただけるとありがたいです。 災害や不審者侵入等の緊急時にどう対応するかを日頃から目につくところに掲示物で周知するなどしてであると更に安心かなと思いました。 (もしすでになにかあれば気付いておらず申し訳ありません)	ご意見ありがとうございます。定期的に防災訓練を実施していきます。災害時の対応についてのフローチャートを掲示しております。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			8	上の設問と同じく防災や不審者侵入等の緊急時にどう対応するかを日頃から目につくところに掲示物で周知するなどしてであると更に安心かなと思いました。 (もしすでになにかあれば気付いておらず申し訳ありません)	ご意見ありがとうございます。不審者対応につきましては、防犯用品を購入予定となっております。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1		4		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22		1	3		
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	5		1		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	6	3		勉強が嫌いなので最近では楽しみにとはいかないこともありますが、勉強が嫌なだけで通所が嫌だという気持ちではないと思います。	ご意見ありがとうございます。より勉強に前向きに取り組めるよう引き続き尽力いたします。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	20	6				

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。